

認知症の人の心に届く 声のかけ方・接し方

NHK報道番組に
出演多数！
カリスマ介護
アドバイザー
によるセミナー

「いつまでも住み慣れた我が家で
生活し続けたい」

誰もがそういう希望をもって生活する
ためには本人や家族を、地域で支えていく
ことが大切です。

2025年には、65歳の5人に一人
は認知症になる見込みと言われ、急激な
高齢化が進んでいます。今後起こりうる
課題を前に、地域全体で介護を知ると
ともに、住み慣れた地域で過ごす事が
出来るような環境づくりのため、今回
講演会を開催します。

3 / 2 3 (土)

14時～16時半 (13時半受付)

場所：グランメッセ熊本
中会議室 (益城町福富1010)

参加対象者：介護業務従事者
介護へ興味・関心がある方
介護をしている家族など



講師紹介



講師 **高口光子 氏**

「元気がでる介護研究所」代表

理学療法士、介護福祉士、介護支援専門員。

理学療法士として福岡の病院に勤務するも、老人医療の現実と矛盾を知る。より生活に密着した介護を求め、熊本の特養ホームに介護職として勤務。介護部長、在宅部長を歴任した後、2002年4月に静岡の医療法人財団百葉の会、法人事務局企画教育推進室室長及び生活リハビリ推進室室長を兼務する傍ら、介護アドバイザーとして全国を飛び回る毎日を送った。その後も2つの老健の立ち上げに携わりながらも、看介護部長を兼任する。2022年4月「元気がでる介護研究所」を設立し代表となる。より自由な立場で「介護現場を良くしたい」の一念にて、現場改善、人材育成などの研修・講演活動、介護相談・コンサルティングの傍ら、フェイスブック、NHKに出演し現場からの等身大の発言・提案で現場を変革させようと取り組んでいる。最新刊『認知症の人の心に届く、声のかけ方・接し方(中央法規)』が介護職員だけでなく、家族にも参考になるということで、ネットで話題となる。



(お問い合わせ)

熊本県上益城郡益城町惣領 1470

益城町社会福祉協議会 TEL 096-214-5566

お申し込みは電話、QRコードでお願いします。

参加費無料

